

事務事業名	クローバーネットワーク参画事業		所属部局	建設部		単位番号	7053					
			所属課室	都市計画課		課長名	齊藤 貞文					
	☐ 実施計画事業		所属担当	計画担当		担当者名	三柵 武					
基本政策	基本計画体系	Ⅲ	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政 策		11	道路網の整備	事業区分	01	一般	08	04	01	020	16	
施策		18	生活関連道路の整備		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業						
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業						
					☐ 市の制度による義務的事業	☒ その他の事業						
				☐ 義務化されている協議会等の負担金								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 16 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）			法令根拠	なし							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 中部日本横断自動車道沿線のみちの会メンバーと意見交換等を行い、生活関連道路の整備促進を図ることを目的に、日本海－太平洋シンポジウムと同日に行われている。 クローバーは植物の四ツ葉のクローバーから由来する。中部日本横断自動車道のルートとなる新潟県、長野県、山梨県、静岡県の4県連携をイメージしている。			事業費の主な内訳（ 24年度 決算見込）								
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)		
				旅費(費用弁償)		4						
				需用費(食料費)		6						
				負担金(その他)		0						
						計		10				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	意見交換会への参加
25年度活動予定	意見交換会への参加
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
女性みちの会会員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
他県のみちの会のメンバーと意見交換等を行い、生活関連道路の整備促進の重要性を理解するとともに、それぞれの地域活動に活かす。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
生活関連道路が整備され地域の活性化が図られる。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
意見交換会、研修会の開催回数	回
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
意見交換会、研修会への参加回数	回
参加人数	人
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
有益な情報交換・交流が図れたと感じた参加者の割合	%
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
目的地までの移動時間が短縮されたと感じた住民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移			単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	71	10	29	39	122	39	
	事業費計 (A)		千円	71	10	29	39	122	39	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	20	10	10	10	10	10	
		人件費計 (B)	千円	79	40	40	40	40	40	0
		(A)+(B)		千円	150	50	69	79	162	79
活動指標		回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
対象指標		回 人	1.0 8.0	1.0 8.0	1.0 8.0	1.0 8.0	1.0 8.0	1.0 8.0		
成果指標		%	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0		
上位成果指標		%	55.2	58.5	64.0	64.0	64.0	64.0		

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成16年に設立された「日本海－太平洋女性みちの会」において中部日本横断自動車道沿線の連携と新たな交流を図るため開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	中部日本横断自動車道も整備が進み、一部開通されたが、未整備箇所の整備促進を図るため、毎年意見交換会が開催されている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	女性の持つみちづくりの観点を活かして、今後も継続して早期完成を訴えていきたい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☒ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	事務事業の主な内容が情報交換、陳情活動であるため、特に改革改善はなされていない。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	クローバーネットワーク参画事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 女性の持つみちづくりの観点を活かして、意見交換、情報交換を行うことにより、地域の実情に合った事業の促進が図られ、生活関連道路の整備に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 地域の代表として、他県と連携、交流を図り、地域の活性化となるみちづくりの促進に寄与しているので妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 地域の女性の代表として、他県と連携、交流を図り、女性の持つみちづくりの観点から中部日本横断自動車道の整備促進に寄与しているので、今後も維持、継続することが妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 毎年、地域の女性の代表として、他県と意見交換、情報交換が適度に行われており、向上の余地はないと思われるが、こうした研修会は貴重な機会といえるので、参加することは必要である。	
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☒ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☒ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 特にルート日本海太平洋シンポジウム参画事業は、同日開催のため統合可能である。 ☐ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 休止・廃止ができる ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☐ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 中部日本横断自動車道参画事業・ルート日本海太平洋シンポジウム参画事業と事務内容が類似しているので、女性みちの会運営事業として統合することにより事業費の削減が可能となる。	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 中部日本横断自動車道参画事業・ルート日本海太平洋シンポジウム参画事業と事務内容が類似しているので、女性みちの会運営事業として統合することにより人件費の削減が可能となる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 広域的な生活関連道路の整備に関する事業であり、市の代表として参画している事業なので、公平公正である。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	女性が語る、クローバーネット、日本海太平洋シンボ等は、すべて女性みちの会が主に中部横断道等の早期完成を目指し情報収集、意見交換、陳情等を行っているので統合すべきではないか。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☒</td> <td>☐</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☒	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 3事業はすべて中部横断道に関連し発足したものであり参加はすべて女性みちの会が主体で旅費と負担金が主であるので統合すべきである。 ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 事業を精査し、統廃合を考えていく、また、関連事業はすべて女性みちの会が主体になっているので事業名の変更を行う。 ② ③																						